



2018年7月25日

石川県立看護大学  
学長 石垣 和子 様

パラグアイ日本人会連合会  
会長 桧垣 竜介



2018年度日系研修「高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成」  
に対するお礼状

謹啓

盛夏の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素よりパラグアイ日系社会のため、日系高齢者福祉事業のため格別のご指導、ご高配を賜り衷心よりお礼を申し上げます。

故国日本は記録的豪雨、死者多数のうえ、未だ行方不明者の必死の安否確認の最中に、今度は異常な猛暑続きと天災が続いておりますが、亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、一日も早く暑さが和らぐことを祈念しております。

さて、2018年度日系研修「高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成」につきまして、参加者荒槇正身氏、佐藤満氏が無事にパラグアイに戻って参りました。大変お世話になったとのこと心よりお礼申し上げます。ご配慮ありがとうございました。

昨年度から組織役員、運営者向けの研修プログラムになっておりましたこと承知しておりますが、適任者確保ができず誠に申し訳なく思っています。今回は日本人会の事務局長と福祉事業運営を担うお二人に参加していただきました。パラグアイ帰着した翌日、当連合会において研修報告していただきましたが、石川県では関連施設を訪問し、皆様方と意見交換を重ねて、多くのことを習得することができ、充実した研修であったとのことであり、当連合会からも是非お礼のレターを出してほしいとのことでした。

佐藤、荒槇両氏には、7月26, 27両日に開催する連合会加盟団体事務局長会議において研修報告をしていただきますし、福祉事業ブロック別研修会の場でも説明していただきます。

今回の研修成果が今後の日系社会福祉事業の取り組み改善に活かされるものと期待しておりますことを申し添え、甚だ簡単な内容で恐縮に存じますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げ、本研修に対する御礼とさせていただきます。誠にありがとうございました。

末筆ではございますが、益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

謹白